

日時	令和2年1月27日(月)第2限	指導 クラス	I部1年次(20名)	指導者	樋田 友直
教科 (科目)	F社会 (学校設定科目)	教科書	なし	副教材	『高校社会へのステップ』 (東京書籍)
単元名	公民分野 わたしたちの暮らしと経済				
本時の主題	わたしたちの消費生活(3・4時間目/全4時間)				
本時の目標	生涯を見通した計画の重要性を理解し、消費生活についての関心を高める【関心・意欲・態度】				
評価規準	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		
	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性を理解し、活動の振り返りの記入や他者への助言など、積極的にペア活動に参加している。また、人生設計についての気づきや、新たな疑問をもち、具体的に行動しようとする態度がみられる。		人生における必要な費用や想定されるリスクなどを理解したうえで、自らの人生設計において重要な点について自分の考えを表現することが出来る。		
指導の内容・ねらい		学習活動		指導上の留意点・観点別評価	
【導入】(15分) ○様々なライフコースがあり、今後それらを自分で選択していかなければならないことを説明する		Q1 : 人生における大きな「選択」の場面は何? Q2 : 30歳になった時の自分のくらしは? →結婚・住宅などについて、ペアで順番にタブレット上でフォームズに入力し、クラス全体で意見を共有する。		○アプリを利用した人生設計ゲームを行うことを予告する ○タブレット2人1組で使用 ○マイクロソフトフォームズを使いアンケートを集計	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 本時の目標: 人生におけるリスクと費用を理解し、人生設計をしてみよう </div>					
【展開①】(30分) ○人生で必要なお金について興味関心を高める ○家計・貯蓄の概念を理解させ、消費と貯蓄のバランスに目を向けさせる ○高校生の収入で置き換えて考えることで費用の大きさを実感しやすくする ○リスクの存在と保険のしくみについて理解する		Q3 : 人生の「三大支出」は何だろう? →教育費・老後費などまとめて準備しておかなければならない支出があることを確認 Q4 : 収入・支出の例の問題点は何だろう? →将来の支出に備えて、計画的にお金を蓄えていく必要があることを理解する Q5 : 生涯に必要なお金はいくらだろう? →生涯の収支を示したグラフから、特に老後に備えて貯蓄が必要であることを読み取る Q6 : 人生にはどんなリスクがあるだろう? →スマホの例について、保険に入るか入らないかを考える		○時間次第でその他の費用についてもクイズを行う ○表やグラフについては、同じ画像を白板投影し、生徒が学習に取り組みやすいよう工夫する ○生命保険等は任意であることを強調し、選択が必要なことに注意を向ける	
↓ 以下、2限目の研究授業 ↓					
【展開②】(35分) ○別紙「ワークシート」と「参考資料」を配布するし、ゲームの説明をする ○ゲームを通じて人生設計についての関心を高める		○人生設計ゲームをやってみる(1人ずつ) →①に結果と自己評価を記入し、ペアからのコメントをもらう(その後、②を記入) ※相手から始めた場合は、②にペアの結果を記入し、さらに自分のゲームで生かしたいと思う点について記入した上で①に取り組む		○2人1組でペア活動 ○指導者は机間指導により分からない語句等を随時説明する ○消費生活への関心を深め、自己評価や他者への助言などのペア活動を積極的に取り組んでいる 【関】	
【展開③】(10分) ○「選択」は人それぞれで自分らしく生きることが大切なことを理解する		Q7 : なぜ家を購入する/しない選択をしたか? →各自で③に理由を記入する →何名か指名して白板に理由を板書させ、意見を共有する		○このゲームでは「残高」をもとに結果が出るため、お金以外の点も含めて考える必要があることを強調する	
【まとめ】(5分) ○振り返りを通じて、本時の学習についての理解を深める		○人生におけるリスクや費用について新しく分かったこと、人生設計をしていく上で大切だと感じたこと等について、プリントに記入する		○リスクや費用等を踏まえたうえで、人生設計において重要な点について意見を表現することが出来る 【思】	

※消費者教育および「人生設計ゲーム」のアプリ等については大藪千穂教授(岐阜大学)よりご指導、ご協力を頂きました。